

佐賀県研究成果情報（作成 2022年3月）

[情報名] キャベツ品種「藍天」は10月収穫ができ在圃性、収量性および食味に優れる

[要約] キャベツ品種「藍天」は、6月下旬播種、7月下旬定植で10月上旬および中旬から収穫ができ、慣行品種「いろどり」と比較して球の揃いが良く、在圃性、収量性および食味が優れる。

[キーワード] キャベツ、秋どり、在圃性、収量性、食味

[担当] 上場営農センター・研究部・畑作・野菜研究担当

[連絡先] 0955-82-1930・uwabaeinousenta@pref.saga.lg.jp

[分類] 普及

[部会名] 上場営農専門部会

[専門] 栽培

[背景・ねらい]

佐賀県では露地野菜の重点品目としてキャベツを選定している。上場地域は平坦部と比較して夏場の気温が低いこともあり県内でも夏育苗に適している。生産量を拡大させるためにはキャベツの端境期で高単価である10月収穫技術を確立し、周年出荷体制を構築する必要がある。そこで上場地域に適する10月収穫キャベツの品種の選定を行う。

[成果の内容]

1. キャベツ品種「藍天」は6月下旬播種、7月下旬定植で10月上旬および中旬から収穫ができる（表1）。
2. 10月収穫栽培における在圃期間は「藍天」が慣行品種「いろどり」と比較して3日程度長い（表1）。
3. 商品収量は「藍天」が「いろどり」と比較して2割増収する。また、結球重の変動係数は「いろどり」と比較して小さく球の揃いが良い（表2）。
4. 生の食味官能評価は「いろどり」と比較して多汁性が強く、食味・食感の総合評価が優れる（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 2020年の8月は降雨量が少なく乾燥が続いたためスプリンクラーによる灌水を行った。
2. 2021年は8月第3半旬の豪雨により生育が遅れたため10月中旬の収穫となった。
3. 10月収穫栽培は夏場の栽培のためアオムシおよびヨトウムシ等の害虫を対象に、定植後10～14日間隔で行う必要がある。
4. 官能評価は「植物栄養実験方法」（植物栄養実験方法編集委員会）の基準に準じて行い供試個体を縦に8等分にし対角の2片を角切りにした。

[具体的なデータ]

表1 キャベツ品種「藍天」の収穫日と在圃性

試験年	品種名	平均 収穫日	定植～収穫 (日)	同左CV (%)	裂球 開始日	在圃期間 (日)
2020年	藍天	10/6	67	4.4	10/27	21
	いろどり	10/6	67	4.9	10/25	19
2021年	藍天	10/14	77	-	11/4	21
	いろどり	10/14	77	-	11/1	18

- 注1) 裂球開始日：30株中最初に裂球した日
 注2) 在圃期間：平均収穫日から裂球開始日までの日数
 注3) 2021年は10月14日に一斉収穫した
 注4) CV(%)=変動係数=標準偏差(SD)/平均値×100

表2 キャベツ品種「藍天」の特性と収量性

試験年	品種名	外葉数 (枚)	結球重		球高 (cm)	球径 (cm)	球径比 (球高/球径)	結球 緊度	芯長 (cm)	結球の 傾き(度)	商品 収量 (kg/10a)	対いろどり 比(%)	収穫 株率 (%)	収穫不能株率(%)	
			平均値(g)	CV(%)										虫害	欠株
2020年	藍天	13.6	1,278	12.5	11.9	20.6	0.58	0.49	6.1	89	5,734	(117)	94	4	2
	いろどり	15.4	1,191	18.4	12.2	18.8	0.65	0.53	6.2	85	4,889	(100)	86	9	5
	有意差	n.s.	†	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.							
2021年	藍天	14.6	1,185	19.4	11.9	17.1	0.70	0.66	6.7	89	5,258	(121)	92	7	1
	いろどり	13.6	1,030	24.3	12.2	15.1	0.81	0.71	6.7	89	4,348	(100)	89	7	4
	有意差	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	†							
平均	藍天	14.1	1,232	16.5	11.9	18.9	0.64	0.58	6.4	89	5,496	(119)	93	5	2
	いろどり	14.5	1,111	22.3	12.2	17.0	0.73	0.62	6.5	87	4,619	(100)	88	8	5

- 注1) 播種日：2020年6月23日、2021年6月23日
 注2) 定植日：2020年7月31日、2021年7月29日
 注3) 育苗場所：佐賀県上場営農センターハウス内
 注4) 使用トレイ：128穴セルトレイ
 注5) 畦間0.6m、株間0.35mの無マルチ栽培
 注6) 調査数：20株の3反復
 注7) t検定により**、*および†はそれぞれ1%、5%および10%水準で有意差あり
 注8) 結球緊度：結球重/(1/6×π×球高×球径²)
 注9) 収穫株率および収穫不能株率は小数第1位を四捨五入のため合計が100とはならない

表3 キャベツ品種「藍天」の生の官能評価

品種名	硬さ	甘み	苦味	多汁性	食味・食感の 総合評価
藍天	2.9	3.3	2.6	3.5	3.6

- 注1) 「いろどり」を基準(3)とした
 注2) 上場営農センター職員17名による5段階評価の平均値
 注3) 試験実施日：2021年10月18日
 注4) 硬さ：柔らかい(1)～硬い(5)、甘み、苦味：弱い(1)～強い(5)
 多汁性：少ない(1)～多い(5)、食味・食感の総合評価：悪い(1)～良い(5)

[その他]

研究課題名：露地野菜の生産拡大を可能とする地域特性に応じたスマート農業体系の開発

予算区分：県単

研究期間：2020～2021年度

研究担当者：平野優徳、伊東寛史、原田克哉